

単元名 なんばんめ

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 数が順序を表す場合に用いられることを理解し、前後、左右、上下などの方向や位置を表す言葉を正しく用いて、物の順番や位置を数で表すことができる。
 (2) 前後、左右、上下などの方向や位置を表す言葉に着目し、数を用いて物の順番や位置を表すことを考えることができる。
 (3) 順番や位置を数で表すことのよさに気づき、進んで順番や位置を数で表そうとする。

標準的な展開例

01040102_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 10までの数について、順序の意味を考える。[p. 18・p. 19]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○きりんの順番を考える。 ○右（左）から何番目か考える。 ○上（下）から何番目か考える。 ○前（後ろ）から何番目か考える。 ○単元の学習課題をつかむ。 ★なんばんめかをかながえよう。 <p>2 順序数と集合数の違いを理解する。[p. 20]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★「なんばんめ」と「なんにん」のちがいをかながえよう ○「前から何番目」と「前から何人」の違いを知る。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>3 方向や位置を表す言葉を使って順序を表す問題に取り組む。[p. 21]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○右（左）から何番目か考える。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★「どちらから」なんばんめかをかながえよう。 ○絵合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場面で順序数を使って表現させる ・動物の並んでいる絵を見て、指定された動物が前（後ろ）から何番目かを考える。 ・つるしてある旗の絵を見て、指定された旗が右（左）から何番目かを考える。 ・木にとまっている動物の絵を見て、指定された動物が上（下）から何番目かを考える。 ・楽器を演奏している動物の絵を見て、指定された動物が前（後ろ）から何番目かを考える <p>【評】位置を表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動を取り入れることにより、順序数と集合数の違いを実感的に捉えさせる。 ・車や鳥などの場合について考え、順序数と集合数の違いを捉えられるようにする。 <p>【評】集合数と順序数の違いを表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左から、右からなど方向や位置を表す言葉に着目して、正しく位置を表すことができるようにする。 ・自ら起点を決めて、物の位置を表せるようにする。 ・右から（左から）という方向を表す言葉を確実に使えるように促す。 ・ゲームの要素を取り入れ、楽しく学習できるようにする。 <p>【評】起点を定めて、位置を表す活動を通して「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は、順序数の意味を理解し、それを活用することを学習する。単元を構成するに当たっては、前単元で学習した集合数との違いをつかませることが大切である。実際に順序数が使われる場面を想起させたり、児童自らが役割を決めて動作化したりするなど、活動を通して順序数について理解させる。